

直  
言

曲  
言

大学生の時、社会福祉士の資格を取るため障害者の就労支援施設で実習をした。机上で学んだ「理想」と「現実」とのギャップ、問題があっても表面化しにくいことを痛感

し、実情を伝えたいと思ったのが記者を志したきっかけだ▲障害児・者には不当に差別を受けてきた長い歴史がある。最近になってようやく地域で暮らすことが当たり前で、重度障害があっても学校で学ぶことが大切だと考えられるようになってきた。だが鳥取養護学校での看護師一斉辞職問題では、重

度障害がある子供の学びを支える学校側の体制のもろさを浮き彫りにした▲県教委にも疑問がある。一斉辞職の発端は、医療的ケアが時間通りでなかったことだ。それを保護者と看護師の「認識のずれ」で済ませ、子供への影響はどうだったのか検証が不十分なまま、急いで幕引きを図ろうとしているように見える。子供たちのために何をなすべきか、もう一度考えてほしい。【小野まなみ】

